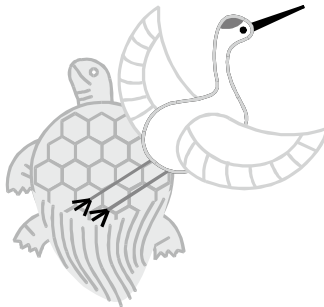


令和 5年10月
発行: 依田窪老人保健施設
広報編集委員会
〒386-0603
小県郡長和町古町 3365-5
TEL: 0268-68-0281
FAX: 0268-68-0283

祝敬老会

9月20日

いつまでもお元気で



9月20日いきいき敬老会を開催しまし
た。

須山施設長からのお祝いの言葉に続き、
米寿(八十八歳)、白寿(九十九歳)、紀寿
(百歳)の方に慶祝状を贈呈すると、皆さ
ん笑顔で受け取られていました。



須山施設長から慶祝状を贈呈

慶祝状を手元に写真撮影を行いました。
全員参加のくじ引き抽選会では、職
員・関係者の協力により準備された景品
が届けられ、嬉しそうに受け取られてい
ました。

お昼には、お赤飯、さわらの西京焼を
添えたお祝い膳を用意し、お祝いをさせ
ていただきました。

最後の一日は、千金に当たると言われ
ますので、次に向けて千金の一日一日を
楽しんでいただきたく、感謝と敬意を表
し、ご長寿を御祝い申し上げます。

これからもご本人・ご家族のご希望に
添えるよう、職員一心を込めてケアに
努めてまいります。

皆様のますますのご健勝とご長寿を心
よりお祈りいたします。

令和4年度

依田窪老人保健施設特別会計決算

依田窪医療福祉事務組合議会9月定例
会が9月21日に開かれ、令和4年度依田
窪老人保健施設特別会計決算が認定され
ました。

令和4年度は、前年度と比較して一般
入所の利用者数の減少に伴い、施設運営

事業収入は減少しました。

支出は、給与費の増、電気料・燃料費
の値上げなどの影響で支出額が増加しま
した。

実質収支差額は赤字でしたが、財政調
整基金を充当したことで、2千百万円余
の黒字決算となりました。

決算の概要、入所・利用者の状況は、
次のとおりです。

歳入歳出

| | |
|------|-----------|
| 歳入総額 | 596,127千円 |
| 歳出総額 | 575,044千円 |
| 差引残額 | 21,083千円 |

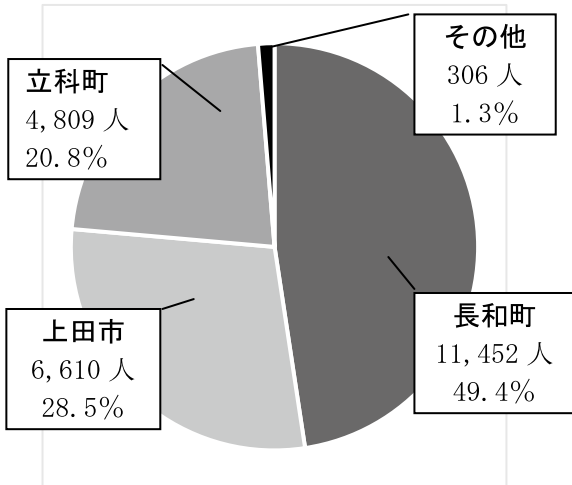
主な歳入

| | |
|---------------------------|-----------|
| 施設入所サービス収入 | 208,450千円 |
| 居宅サービス収入 (短期入所・通所リハビリ) | 158,694千円 |
| 市町分担金(建物起債償還金分) | 62,520千円 |

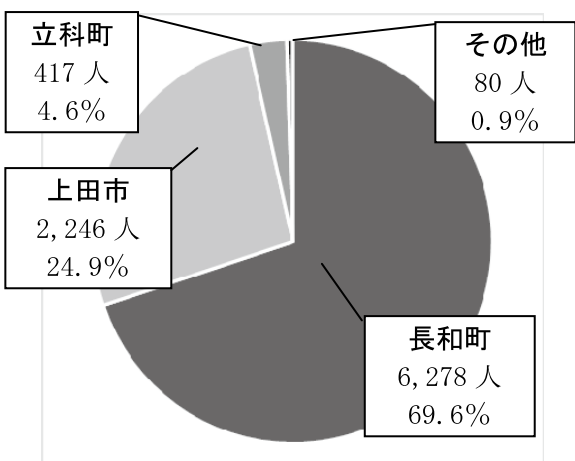
主な歳出

| | |
|-----------------|-----------|
| 給与費 | 372,603千円 |
| 材料費(医薬・介護・給食等) | 30,836千円 |
| 経費(消耗品費・光熱水費等) | 59,478千円 |
| 委託金(保守点検・清掃等) | 43,769千円 |
| 起債償還金(既存棟・新棟建設) | 62,519千円 |

市町別延べ入所者の状況



市町別延べ通所利用者の状況



入所・利用者の状況 (延べ人数)

| 区分 | 利用実績 | 前年度との差 |
|--------------------|---------|---------|
| 一般入所者数 | 17,201人 | 1,157人減 |
| | 短期入所者数 | 5,976人 |
| 入所者数計 | 23,177人 | 617人減 |
| 入所率 | 90.7% | 0.8%減 |
| 通所リハビリ 利用者数 | 9,021人 | 9人増 |
| 通所リハビリ 1日平均利用者数 | 29.1人 | 0.1人増 |

○ 食事意欲の向上を目指して ○

管理栄養士 武井 聖実



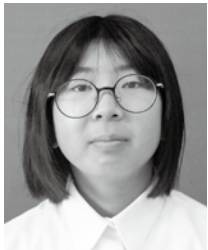
多くの方が毎日当たり前のこととして“食べる”という行為を行っています。しかし、いくつかの過程を経て、食べ物はわたしたちの体の中に入ります。食べる時どんな動作をしているか想像してみましょう。

まず、食べ物を見て脳が「おいしそう」と認識し、口の中から唾液が出て食べ物を受け入れる準備をします。次に食べ物を口まで運び口の中に入れます。嚙んで大きいものは細かくし、唾液と混ぜ合わせて塊をつくり、飲み込みやすくします。それから、舌で咽頭にその塊を送り込みます。最後にごっくんと飲み込んだところで、食道の入り口が開き、食道へ送り込まれます。一口を食べるだけでもこれだけの過程があります。健康な方は、この過程を数秒で行ってしまいますが、高齢になると食べ物を口まで運ぶことが困難になったり、歯の欠落や入れ

歯の不具合、噛む力や飲み込む力の低下がみられる場合があります。食べるという一連の過程を行うことが難しくなってしまいます。これが食べる意欲の低下につながります。

いこいでは、多職種で利用者様の食事摂取の状況を見て、食事動作に困難さはないか、しっかり咀嚼・嚥下ができているかを確認し、解決策を探っています。例えば、口まで食べ物を運ぶのが難しそうであれば、いろいろな形状のスプーンやフォークを試してその方に合った食器を選定したり、咀嚼嚥下機能の低下が見られたら、きざみ食やミキサー食といった食事形態の検討を行います。また、活動量の低下も食べる意欲の低下につながります。食事量が減少することで筋力低下が進み、それがまた活動量の低下につながるという悪循環に陥ります。いこいでは在宅復帰を目指し、リハビリを行い、生活の中での活動を促しています。食事の時間には、利用者の皆さんで食卓を囲み、顔なじみの方と一緒に食べる環境が食事意欲向上の手助けとなっています。

食事がしっかり摂れることは、身体機能を維持するための基本だと思います。ご家族やお知り合いの方で、食べこぼしや食事中的ムセがみられるなど、食べる動作が大変そうな様子がみられたり、食事摂取量が以前より減っている様子があれば、いこいのご利用を検討していただき、食事に関するお悩みを一緒に解決できればと思います。



小林禾陽さん

私は、この職場体験でたくさんのお話を学びました。その中でも特に頑張ったことがあります。



高橋愛奈さん

利用者の方は、家庭に戻るためにリハビリなどを頑張っていました。大変なこともある中で、職員と話をすることで、利用者の方も笑顔になれるということを学びました。利用者の方と話をするのは、普段仲のよい友達と何気なく話すのとは違い、大きな声ではっきり、そして目線を合わせて笑顔で話をするのが大切だと学びました。職場体験でたくさんのお話を学べたので、学んだことを日常生活でも活かして行きたいです。



輪湖美南さん

職員の方々のおかげで、私がこの体験で目標にしていた『仕事のやりがい』を見つかることができました。『ありがとう』と感謝の言葉を伝えることができて、私も嬉しかったです。

職場体験で皆様から沢山の感謝の言葉をいただき嬉しかったので『感謝されること』は本当にやりがいの一つなんだと改めて思いました。私はこの三日間で教えていただいたことを学校生活に活かして、さらに大人になって働く時にも、ここで体験したことを活かせると思います。

■依田窪南部中学校 2年生 いこいで職場体験 7月18日・19日・20日

食費

(単位：円)

| 区分 | 改定後 | 改定前 |
|-------------|-------|-------|
| 入所 (3食・日額) | 1,680 | 1,600 |
| 短期入所 (朝食) | 500 | 480 |
| 短期入所 (昼食) | 610 | 580 |
| 短期入所 (夕食) | 570 | 540 |
| 通所リハビリ (日額) | 720 | 700 |

日用品費

(単位：円)

| 区分 | 改定後 | 改定前 |
|-------------|-----|-----|
| 入所・短期入所(日額) | 140 | 100 |
| 通所リハビリ (日額) | 70 | 50 |

■利用料(食費・日用品費)の改定

原材料費や電気料等の価格高騰の影響により、食材料費・材料費の購入経費が増加しています。

令和5年11月1日から利用料について、次のとおり値上げの改定を行いますので、ご理解・ご協力をお願いします。

それは、笑顔です。私は、いつも仲のよい人たちにしか笑顔を見せていなかったけれど、職場体験では、初めて会う人たちがたくさんいました。だから、私は少し緊張してしまいました。けれど職員のみなさんから、「笑顔がないと利用者の方がこわがってしまいます。」と言われて、このことから私は、やはり笑顔は大切なんだと思いました。私は少しずつでもいいので、この体験を活かして、日々の生活の中で笑顔を大切にしていきたいです。